

## 令和4年度における主な実施事業

### 1 森づくり団地による集約化が市内人工林の半数を上回る

豊田市では、平成12年の東海豪雨による被災を教訓に、市内に約27,000haあるスギ・ヒノキの人工林の健全化を目的に、間伐を中心とした森林整備を行っています。森林整備においては、効率的かつ計画的に推進する手法として、所有者が異なる森林をとりまとめる「森づくり団地化」という豊田市独自の手法を平成19年度から実施しており、令和4年度末において団地化された面積は15,443haを達成しました（令和4年度版白書 P.1,2,3,29~33 参照）。

### 2 豊田市・森の総合サイト「Tomori」を運用開始

豊田市・森の総合サイト「Tomori」で、森林環境教育の講座等を主催する団体や個人に、実施講座や会報誌等のサイト掲載を支援しました。当年度は、39講座（市主催9講座、一般団体・個人主催30講座）を掲載しました（令和4年度版白書 P.11 参照）。



森の総合サイト Tomori

### 3 間伐モニタリングが15年目

当市は公益的機能の発揮される森づくりを目指して、間伐を推進していますが、間伐率や間伐手法の違いが下層植生や樹木の成長プロセスに与える影響についてのデータは乏しく、経験的推論の域を出ません。そのため、平成20年~22年度に75か所の調査地を設定し、それ以降、植生調査と林分調査を実施しています。当年度は第3グループの25か所で調査を実施しました。また、開始から15年目にあたる当年度は、有識者を招いた見直し検討会を開催し、今後の方針を決定しました（令和4年度版白書 P.15 参照）。

### 4 「豊田市 市有林ゾーニング・活用計画」の策定

当市における市有林は市内各所に分散しており、その合計は66か所で約1,300haになります。こうした立地や林相が多様な市有林を今後適切に活用していくため、「豊田市 市有林ゾーニング・活用計画」を策定しました。これにより、市有林の利用ニーズに対する適地が明らかになるとともに、長期的な森林整備計画の作成につなげることができます（令和4年度版白書 P.16 参照）。

### 5 豊田市の森づくり成果報告会を開催

3月15日に「豊田市の森づくり成果報告会」を開催し、当市の森林施策について庁内外に発信し、関係機関との意見交換を行いました（令和4年度版白書 P.16 参照）。